

会報

冬
No.188

2020.1

一般社団法人北海道電業協会



年頭ごあいさつ

国土交通省 北海道開発局 営繕部長 増 田 正 一…………… 1

令和2年の新春を迎えて

(一社)北海道電業協会 会長 吉 本 浩 昌…………… 2

就任ご挨拶…………… 3

(株)でんこう 代表取締役 石 田 貴 久

岸野電気(株) 札幌支店執行役員支店長 中 村 崇 裕

新春特集 座談会『女性が活躍できる社会づくり』

～タレント・女優 千堂 あきほさんをお招きして～… 4～11

令和元年度 経営者懇談会 ……………12

令和元年度 経営者懇談会・セミナー ……………13

～シリーズ～ 1 / 212便り

・協働で創る住みよいやすらぎの郷 ～古平町～

古平町長 貞 村 英 之…14～15

・観光に生活にちょうどいい町 ～上砂川町～

上砂川町長 奥 山 光 一…16～17

令和元年度 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会 ……………18

令和元年度 北海道建築工事に係る合同研修会 ……………19

登録電気工事基幹技能者認定講習会……………20

安全パトロール実施報告……………21

電気設備施設見学会……………22

～シリーズ～ 「私のいちおし」

(株)きんでん 北海道支社 執行役員支社長 佐 藤 友 昭……………23

厚生委員会行事報告

歌唱部会……………24

ゴルフ部会……………25

ボウリング部会……………26

業界だより、理事会・三役会・委員会報告……………27～29

事務局日誌……………30

編集後記……………31



年 頭 ご あ い さ つ

国土交通省 北海道開発局

営繕部長 増 田 正 一 (ますだ しょういち)

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人北海道電業協会の皆様には、平素より国土交通省における北海道開発行政、とりわけ官庁営繕の事務・事業の執行にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

北海道開発局営繕部は、官庁施設の整備と施設機能を適正に維持するための保全指導の業務を担っています。官庁施設の整備においては、平成29年からアイヌの文化復興等に関するナショナルセンターとして白老町に、「ウポポイ（民族共生象徴空間）」の各施設を整備しておりまして、令和2年4月24日の一般公開を目指して進めています。是非とも足を運んで頂ければと思います。

一方、近年の大規模災害の多発や老朽化施設が増加する中、災害に対する国民の安全・安心の確保に的確に対応することが強く求められています。こうした中、北海道胆振東部地震では、北海道全域が停電する「ブラックアウト」、令和元年の台風15号や19号では、都府県の各地で停電が発生し、公共交通の運転見合わせ、生産工場の操業停止、コンビニ・スーパー等の休業など、産業全体が一時停止の状況に陥ってしまいました。

このような場合においても、国等の施設は災害対策活動の拠点として機能を継続させなければなりません。そして、防災拠点となる官庁施設での災害応急対策活動には電力が必要不可欠であり、その施工を担う立場から、電気設備関係の企業・

技術者の役割はますます大きく重要となっています。

次に、建設業の働き方改革の実現に向けた取り組みについてです。改正労働基準法などの「働き方改革関連法」が成立し、全業種に時間外労働の罰則付き上限規制が導入されることとなりました。建設業への上限規制は5年間猶予され、2024年4月から適用されます。

この長時間労働の是正を目的とする働き方改革の大きな柱の一つが、「週休2日工事」の拡大で、もう一つの柱が、ICTの積極的な活用等による現場における生産性向上への取り組みです。

当営繕部では、これまでも適正な工期設定、書類の簡素化、法定福利費・安全衛生経費を含んだ、適切な予定価格の設定などを実施してきましたが、これらの動向に沿って、現場で働く皆様の長時間労働の是正や休日が確保されるよう、さらに取り組んでいきます。また、BIMを用いた基本設計や改修工事における施工BIMの試行、情報共有システムの活用、電子黒板の活用など、現場における生産性の向上や、若手入職者や女性など将来を担う優秀な人材確保の一環として、快適トイレ等の現場環境等の整備にも取り組んでいきます。

本年が貴協会にとってますます発展する年となりますよう祈念するとともに、皆様のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



令和2年の新春を迎えて

一般社団法人 北海道電業協会

会長 吉本 浩昌

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、ご家族お揃いで新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

ここ数年、全国的に自然災害が多発しており、昨年を振り返りましても台風15号、19号によって東日本を中心にこれまでに経験したことのない強風、記録的な大雨による河川の氾濫、土砂災害などで産業活動、社会生活に甚大な被害がもたらされました。ライフラインの一翼を担う私ども電設業界といたしましては、忘れた頃にはではなく、いつ来てもという気持ちで、日頃からしっかりと自然災害に対する心構えを持っておくことが肝要と改めて感じた次第です。

昨年は、5月1日に天皇陛下が御即位され、新元号「令和」への改元に、我が国全体が祝賀モードに包まれました。近年は、少子高齢化の進行や働き手の不足、IT技術の急速な進歩などで時代はまさに転換点を迎えておりますが、「令和」という時代が、私ども電設業界の更なる飛躍に結び付く時代となるように、業界が抱える諸課題に果敢に取り組んでまいりたいと考えております。

当協会では、次の時代に向けて、「これからの協会事業のあり方」について検討会を立ち上げて議論を進めているところです。この検討経過につきましては、昨年も経営者懇談会の場を通じて、中間報告をさせていただいたところですが、現在は、この検討も終盤を迎えており「基本的な方向性」の案を取り纏めているところです。

今後も会員の皆様方からお知恵をいただきながら、協会の健全な発展と会員の皆様方にとって「夢と生きがいのある電設業界」につながるよう協会としての役割を果たしてまいりたいと考えております。

さて、「働き方改革」の関連法が昨年4月に施行され、9カ月が経過いたしました。法施行に伴いまして、2024年4月からは、建設業にも、罰則付きの時間外労働上限規制が適用されることとなり

ます。それまでに私ども電設業界といたしましても、週休二日の確保や時間外労働の抑制など長時間労働の是正を加速して進めていくことが必要となりますが、残念ながら私ども内線工事業界のアンケート調査では三六協定上の時間外労働の実態として、約半数の企業がこれを上回っている状況にございます。

長時間労働の是正につきましては、工期の終盤を担うことも多い私どもは、業界内の努力だけでは解決できない要因も多々ございますが、これにつきましては、発注官庁様との意見交換の場におきまして、長時間労働是正の要望をさせていただいているところです。これからも、協会という立場で、関係個所に粘り強く対応していく必要があるものと認識をしております。

他方、私どもも業界内の努力として、時間外労働の抑制に向けて「仕事の効率化」や「生産性の向上」に努めていかなければなりません。

当協会といたしましても、「仕事の効率化」や「生産性の向上」に結び付くような有益な事例や情報がありましたら、会員の皆様にお知らせしてまいりますので、お役立ていただきますようお願い申し上げます。

当協会は、「担い手の確保・育成と生産性向上」とともに「適正な工期・適正な価格での受注の確保」、「分離発注の促進」、「電力新時代への対応」を活動目標に掲げ、品質確保と会員企業の経営基盤の強化を図ることとしております。

北海道の開かれた電気設備工事業界の団体として、会員が一丸となって知恵を出し、力を合わせて、この「令和」の時代の飛躍を目指して頑張りましょう。

引き続き当協会の諸活動に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員企業の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

就任ご挨拶



(株)でんこう
代表取締役

石田 貴久

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、前代表取締役 佐藤 義明の後任として令和元年5月5日付けで代表取締役に就任いたしました石田 貴久でございます。

平素は、当協会ならびに会員の皆様にはいつも大変お世話になっております。

心より御礼申し上げます。

まだまだ力足らずではありますが皆様のご指導ご鞭撻を頂き、業界及び協会の発展に尽力を尽くす所存でございますので、何卒宜しくお願い致します。

弊社は昭和22年5月に電工社として創立され北見市にて電気工事業を営んできました。

その後、札幌に本社を移すと共に田中電工株式会社に商号変更し平成7年に株式会社でんこうに商号変更し、現在に至っております。

私事ではありますが昭和54年に田中電工株式会社北見支店に入社以来、今年で40年となりました。

諸先輩方のご指導があつての今の私があるものと実感いたします。

様々な苦難もありましたが、先々代からの弊社の経営方針であります「社員の豊かな人生を共に築く企業造り」に則って、社員一同が団結をしてここまで頑張ってきた次第です。

私で弊社代表取締役は六代目となりますが、その重責をしっかりと受け止め、職務を全うし、三意（熱意・誠意・創意）、三感（感謝・感心・感動）を心に次世代に継承できるよう改めて決意してまいります。

昨今、労働者不足、働き方改革等、当業界も厳しい状況に直面しております。

しかしながら、この様な時代だからこそ夢と希望を持ち、前向きに取り組んで行きたいと思っております。

最後になりますが、北海道電業協会の益々の発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



岸野電気(株)札幌支店
執行役員支店長

中村 崇裕

新年明けましておめでとうございます。

会員各社の皆様におかれましては益々ご清祥のことをお慶び申し上げます。

このたび、令和元年10月1日付で、前支店長 関戸 武勲の後任として就任いたしました中村 崇裕でございます。

このたび、令和元年10月1日付で、前支店長 関戸 武勲の後任として就任いたしました中村 崇裕でございます。

日頃より協会、並びに会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、明治45年岸野電気商会として東京、六本木にて創業開始、平成24年4月に創業100周年を迎えました老舗電気工事会社でございます。

北海道には昭和33年9月、札幌出張所を開設、昭和35年9月、札幌支店に改称、現在に至っております。

社則である『和らぎ・誠実・礼儀・忍耐・敬愛 恥心』を守り、社会に『信頼』と『安心』を提供できますよう、日々精進して参る所存でございます。今後とも皆様のご指導とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後となりましたが、当協会の益々のご発展と会員各社皆様のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。

～新春特集 座談会～

『女性が 活躍できる 社会づくり』



タレント・女優

千堂 あきほ さん



プロフィール

生年月日／1969.4.5

星座・血液型／牡羊座・A型

趣味・特技／アウトドア・釣り・scuba diving・ガーデニング・料理

兵庫県出身で、北海道在住。2人の女の子のお母さん。
現在は、北海道文化放送UHB「みんテレ」水曜日コメンテーター、
「北海道漁協女性部応援大使」としても活躍中！

○ご出席者

千堂 あきほ さん

山谷 寛子 さん

(株)北弘電社経営企画本部人事部主査)

畑 千寿代 さん

(北盛電設(株)営業部主任)

久保杉 涼加 さん

(北海電気工事(株)電設工事部技術グループ)

○(一社)北海道電業協会

副会長 鈴木 暁彦 (拓北電業(株))

広報委員長(司会) 萩本 哲夫 (三共電気工業(株))

広報副委員長 伏木 淳 (北電力設備工事(株))

萩本委員長 (以下、司会)：北海道電業協会では、

毎年、広報誌の新年号にて、各界にてご活躍されている方をお招きして座談会等を行い、特集記事を掲載しています。本日は、縁あって千堂さんをお話させていただくことになりました。お忙しいところありがとうございます。



萩本委員長

今回は「女性が活躍できる社会づくり」をテーマに、私ども電気工事業界で働く3名の女性の方にお越しいただき、働く上での苦労や悩み、そして要望や将来の夢などもお話いただいた上で、千堂さんから様々なアドバイスをいただいて、実のある座談会になれば幸いです。まずは、女性の皆さん、簡単に自己紹介をお願いします。

山谷 寛子さん (以下、山谷)：(株)北弘電社の人事

部の山谷です。二人の子育てをしながら働いています。今は「時短勤務」をさせてもらっていて、定時17時半までのところ、16時までの勤務とさせてもらいながら何とかやっています。よろしくをお願いします。

畑 千寿代さん（以下、畑）：北盛電設(株)の営業部の畑です。私は、異業種から5年前に転職したので、まだこの業界わからないことが多く、「建設業への女性進出」と言われても難しいのですが、今日は色々とお話を聞かせていただければと思います。

久保杉 涼加さん（以下、久保杉）：北海電気工事(株)の久保杉です。今は入社4年目で、1年目は現場でしたが、2年目からは屋内工事の設計、積算をやっています。実は、高校から入社2年目までウェイトリフティングをやっておまして、今は指導の方をやらせていただいています。よろしくをお願いします。

千堂 あきほさん（以下、千堂）：よろしくお願います。まず、私から質問ですが、電気の世界は、昔から比べるとどれくらい女性が増えてきましたか。電気って、子供の頃は割と男子が興味を持つもので、正直女子が興味を持つことはなかったように思えます。電気の難しい配線とか、私そういうのが苦手で、逆にとても憧れ「うわー、すごい、ステキ！」って思えるのですが、今の時代は、電気の学校にも女子生徒が進学するようになったそうですが、現在、女子生徒は何割くらいですか。



久保杉：私は工業高校の電気科を出ましたが、きっかけとしては、幼少期に父とよく家電屋に行っていて、家電を見るのが好きになったことでした。また、自宅も工業高校から近く、姉も科は違いますがそこを卒業したということもありました。私の

時には、電気科は2クラスで80名でしたが、女子は2名だけでした。

千堂：やはりまだまだですね。私が居る業界は、女性が普通について「女性がどのくらいか」なんて考えたことがなかったんですけど、業種によって、女性の進出の仕方がかなり変わってくるんですね。電気の仕事は、女性が進出した時に、自分のスタイルを築くとか、そういうことは難しそうですね。電気って、ある程度配線のやり方とか決まっていて、それを着実にやっていくようなことでしょうか。女性が女性らしい感性で仕事することは難しいということでしょうか。

私が居る業界では、例えば、書類を出す時にも「千堂らしくするため何か絵を描こうかな？」とか、もちろん相手にもよりますが、そういう小さなことも大事だと思っています。それで、勝手な想像ですけど、電気の世界は、キチーとした中で働くことがあたり前で、女性はそういう「窮屈さ」に向かって行かねばならないと思えますが、その辺はいかがですか。



畑：私は、最初に働いた会社では営業職でしたが、すごく優しくしていただきました。その次は、実家の洋菓子屋で女性ばかりの職場でした。それで、今の仕事も「別に男女で区別することは何一つない」と思っていて、現場仕事となるとちょっと分かりませんが、社内の仕事であれば、特に差はないのかなと思います。

司会：逆に、千堂さんみたいに、女性らしく名刺に花柄など入れたりしないですか。

畑：そこまではしてないですが、この業界、営業職は女性が少ないので、顔と名前を覚えていただいたり、逆にやりやすい時もあります。また、建設業の会社ってそういうものなのか、皆さん女性にはとても気を遣って下さり、ありがたいです。

山谷：私は、大学卒業後に別の会社に就職し、関西に配属になりましたが、結婚を機に縁あって今の会社に入社させていただくことになりました。

それで、最初に配属された部署では、事務的な仕事が主で、男性のサポート的な立場として、指示された仕事をきちんとやるというものでした。それが、昨年異動になりまして、自分から動いて上の方と話をして調整をつけたりという要素が増えたので、色々と苦労しています。

千堂：いきなり関西に行かされたのですね。それはしんどかったでしょう。関西人として申し訳ない（笑）。関西人というのは、心に思っていることをどうパフォーマンスするか？ばかり考える人種なので、そういうパフォーマンスの中を切り抜けていくのが厳しいと思います。もし、私が、子供を抱えながらその立場だったら、たぶん会社を休んでしまうかもしれません。職場でストレスが溜まれば、家に帰った時に、子どもについついイラッとしたり、旦那にムカついたり（笑）すると思うので。

私も、20代の時の仕事を、同じようなレベルで子育てしながらやるというのは、ちょっと出来ないと思います。でも、意識だけは持って行けると言うんですよね。子どもを産んだことで、逆にエネルギーとか強さとかを子どもからもらって、それがまたプラスアルファになって仕事にも活かして行く。私自身も、今はそういうふうに仕事ができつつあるのかなと思います。

日本の会社も、ぜひ、そうやって女性が活躍できるような環境を作って行って欲しいです。また、女性たちが、男性が今まで気づかなかったところに気付くとか、女性らしく視野を拡げて行くことによって会社の発展につながるような方向に行けばと思います。

山谷：私は、今、人事部で「働き方改革」も踏まえ会社の制度を色々変えて行くという役目を与えられていて、ちょうど私自身が育児していることもあって、女性の「時短勤務」の在り方についても、法律等も色々調べながら取り組んでいます。現在、会社では子育てしている女性社員が何名か居ますが、色々話を聞いて、時短勤務の対象を子どもの年齢が小学生までとする制度に変えました。また、男性の「配偶者出産休暇」も、制度を新設したばかりですが、男性の中には「制度

はいいけど実際にとるのはなかなか難しい」という方もいるのではないかと正直悩んでいるところです。

千堂：私は、二人目の出産の時にこちらに来て、その後はラジオ番組だけ関西で



山谷さん

少し出ていたのですが、北海道に友達が居ないながらも「人生また一からやってみるのも面白いかな」って思い、結果的に、縁あってこちらの番組にも出させていただくようになりました。

そして、私は他の人から比べると恵まれているのですが、母も同居しているので、子育てをだいぶ助けてもらったと思います。女性によって事情は異なりますが、子どもを預けるにしても、家政婦さんに来てもらうにしても費用が掛かりますので、その辺はやはり会社側に配慮して欲しいと思います。

それと、やはり子育てはかなり大変で、心身ともに消耗するので、たまにはリフレッシュできるような時間が欲しいです。私が月1回、大阪でのラジオ番組を続けたのは、ささいなことですけど、ホテルでゆっくり大の字で眠れるからです。これがあって「よしっ、次がんばろう」と思えるものです。そうやって気持ちの切り替えができるようなことが必要ですが、会社の勤務も同じで、子育て主婦のことも考えていただければと思います。

ここで、少し芸能界の話もさせていただきますが、今でこそ子連れで撮影に来る方も居ますが、昔はそういうこともなくて、ましてや、芸能人というものは、結婚したらその人の居場所がなくなるような厳しい世界でした。私も「千堂あきほ」という立ち位置を作って下さったので、「私が結婚したら、この位置には誰が来るのだろうか？」「今私が出てる番組には代わりに誰が出るのだろうか？」など考えたものでした。

今は、逆に「私は、今、子育てがこういう状態ですが、もしもこういう時間の使い方ができるような仕事ならお請けしますよ」と話していて、それで、今のコメンテーターの仕事につながっています。週1回の夕方の時間帯ですが、夕食の準備だけ早目にやって「すみません、お母さん、仕上げといて下さい」と言って仕事に来ています。

これからの時代は、子どもを持つ主婦も「自分の生活スタイルがこうで、こういうことだったら仕事できます」と交渉していくような時代になればと思います。ただ、その代わり、お金をいただく以上は、それなりに覚悟してやっていかねばなりません。



女性活躍社会に足りないものは？

司会：今日は「女性活躍社会に足りないものは？」ということも取り上げようと思っていましたが、話が少し近づいて来たと思います。「何が足りないのか？」というところは、どうでしょうか。

千堂：私は、昭和の人間で感覚が古いのか、外で働くのは男性で、サポートするのが女性というふうに「役割分担」があると思ってきました。体質的にといいますか、男の人は外に出て、そして体力的にキツイこともやりますが、女性は身体の負担が大きい仕事や夜間の仕事などは向いていないのではないかと。

それで、私の関わる仕事は、個別で動くのではなく、チームで物事を作っていくような仕事ですが、女性が女性らしいサポート力を出して行くことが非常に大事だと思っています。例えば、意見を通しにくい状況下でも、意見を出してもらうよ

うな環境をつくるとか、意見がぶつかった時に間を取り持つのが多分女性の役割なのかな？と思ったりします。

あと、子育ては細々したところに対処しなければいけないので、女性は、本能的に細かな気配りをするような役回りは得意だと思います。特に、多くの技術者が居るような組織では、中間のどこかで女性の居るところがあると、話の通り方が何となく良くなったりすると思うのですが、どうでしょうか。普段は、女性の視点で何か気が付いたらどこに話をするのですか。

畑：やはり上司ですけど、男性ですね。

千堂：男性がほとんどなんですね。女性の上司で、相談できるような立場にいる人はいらっしゃるんですか。

久保杉：当社は、課長代理まで女性が居ます。

司会：やはり、電気業界は遅れているといいますが、本当にそういうところにいる女性が少な過ぎますね。

千堂：間を取り持つ話術が上手な女性っていると思うんですけど、電気業界のような技術系の会社であっても、そういった女性の活躍でコミュニケーションがスムーズに取れるような組織になるようになるのでは？と感じます。そして、大企業になればなるほど、部署間の距離が出来たりすることがあるので、そういう女性は必要だと思います。畑さんは営業ができる方と思いますが、お話とか上手ですし、話の受け止め方も上手そうですね。

畑：いえ、そんなことはありません。全然（笑）。たしかに「あなたからちょっと言って下さい」みたいなこともありました。もしかしたら、それは「女性だから」という意味合いだったかもしれませんね。

千堂：男性って、女性に穏やかに柔らかい言い方されると、ついつい「まあ君がいうなら仕方ないかな」と言ってしまうドラマに良く出てくるような方が結構居ますよね。男性の皆さん、黙ってますけど大丈夫ですか（笑）。やはり、女性って、柔軟剤になるところを持っていて、男性が言うより女性が言った方が波風立たないですよ。

畑：そうですね。でも、最近では、男性の皆さんちょっと神経過敏というか、距離ができているのを感じることもあります。それで、私の方も、逆

に、そういう部分を出しちゃいけないんだろうなって思いながら接してんですけど、ちょっとお互いやりづらいですね。例えば「すごく遠慮して、言葉選んで言ってるのかな。ストレートに言ってくれてもいいんだけどな」と思える時もあります。



畑さん

千堂：多くの女性は「あ、もしかして気を遣ってらっしゃるのかな」って相手を思える心を持っていて、それが女性らしい良いところですが、男性はそのあたり鈍感だったりしますよね。

鈴木副会長（以下、鈴木）：私は、やはり、男性、女性関係なく、今は指示待ちの人たちが多い時代なので、自分で情報を集めてきて、経営者の方針を理解し、自分で判断をして動き出せる人が欲しいなと思います。ただ、やり方としては、それぞれ得意なものが異なるので、女性の場合は、先ほど話された「繊細さ」や「広い視野」など、その辺をうまく活用して、経営者が求める方向性に向かって取り組んでくれる社員が居ると非常にありがたいです。

伏木副委員長：我社は、かつて工事部に女性社員が居て、現場代理人として頑張っていたのですが、残念ながら結局は辞めてしまいました。やはり工事現場は、女性には色々難しい要素があるかと思っています。今は、逆に、女性は現場じゃなくとも、設計・積算などでも活躍できるので、何名かCADで図面を書ける女性が居ます。



伏木副委員長

それで、課題としては、設計といっても、仕様がほぼ決まっている施設の図面を書いているのですが、それを着実に書いていくことはとても大事

なんですけど、例えば、お客さんがこういうものを求めているだろうからこういう設備が良いとか、メーカーでこういう新しい機器やシステムを出したのでそれを提案するとか、本当は、もう少しクリエイティブな仕事が出来ないかな？と感じることもあります。これは、男性でもなかなか難しいのですが。

先ほど山谷さんが言いましたが、決まった仕事している時は良かったけど、色々新しい制度考えてくれて言われたら大変ですよ。私は、やはり女性にもクリエイティブな仕事をして欲しいので、逆に、男性の側も、女性の新しい発想の提案が出てきやすいような社風をつくる必要があるのかな？と感じることもあります。

それともう一つ、私も、男性社員には「これやれ、あれやれ」と簡単に言えるのですが、女性社員には「今は業務の忙しさは大丈夫かな？」など気にしながらの対応になってしまうので、たまに「余りにし過ぎない方が良いのかな」と思う時もあります。

久保杉：私は、1年目は現場に配属になりましたが、職人さんとのやり取りも、最初は女性的な柔らかい言い方をしていましたが、しばらく経つと「あー、そうすか」など少し男っぽい喋り方の方が、受けが良いことに気付いて、そう話すようになりました。そして、2年目社内戻ってきてからは、しばらくは、女性として気を遣われている感じはあったのですが、徐々に、男性と同じように扱われるようになりました。女性だからといって変に気を遣われない方が自然だと思います。

千堂：あと、最近特に思うのですが、若い人が、男性も女性も何となく「安定」を求めている、よく「ゆとり世代」と言いますが、ある程度の生活が出来ていれば、無理をしなくて「そこそこいいか」という人が多いように感じます。信じてもらにくい話ですが、実は、芸能界でも安定志向の人が結構増えてきたんです。本当なら、自分の価値をとことん磨くとか、いかに「おお！」って思ってもらえるように努力するとか、そういう発想にはならないのかな？って思う時はあります。

企業でも「働き方改革」というのをやらねばならないようですが、ただ「定時に来て定時に帰ります」ではなくて「自分が会社でどういう存在であって、どう楽しんで働いて行くのか？」という

ことを追求して行くのが本来だと思います。若い人には、何となく毎日を過ごすのではなく、やはり夢や目標持って歩んで欲しいですね。

畑：例えば、バリバリ働く、とても輝



久保杉さん

いている人が居て「ああ、こういうふうになりたい、こうなるにはどこを努力すればいいんだ」という目標が出来ればいいのですが。「安定しているし、とりあえず食べていければいいかなって」という思考は持たないようにしたいです。

千堂：実は、私は昔から夢を持つようにしています。小さな夢、中くらいの夢、大きな夢と3つに分けて。小さい夢というのは「この仕事終わったら美味しいもの食べに行こう」とかすぐ叶うもの。そして、中くらいの夢は、日々コツコツやっていると「もしかしたらたどり着くかもしれない」というもの。たまに「おっ？近づいているんじゃない？」と感ずることが出来ればなお良い。大きな夢は「きっと叶わないだろうけど、叶った



ら自分の世界はどうなるだろう？」と希望するだけの夢。私は、北海道に来てからは「自分で野菜を育てたり、そういうものを出すカフェをやりたい」という夢があり、もう一つは大きな夢ですけど「せんどう米」という米を作りたいと夢見みます。

たぶん、会社の中でも、社員さんそれぞれ、男性も女性も、小さな夢、中くらいの夢、大きな夢を持って、それが上手く絡んで行けば大きな力を発揮すると思います。部署や役割分担が違って、それぞれが小さな夢を少しずつ達成していくような雰囲気が出来ればいい。そして、中くらいのものを男子も女子も持って、行くのがいいのかなと。

10年後の自分

司会：女性の皆さんは「10年後の自分」を想像できますか？

久保杉：自分は、今の設計業務はまだまだ上司の方の助けが必要なので、10年後とは言わず早く知識を増やして行って、一人で現地調査ができるようになったり、お客さんにも一つ質問されたことに最低3つとか、プラスアルファで提案ができるような技術を身に付けて行きたいと思っています。

私は、今4年目で、たまに「キャパオーバー」になって、例えば、2つ3つの仕事が重なるとすぐテンパってしまい、失敗することもあったのですが、でも何とか同じ部署の方ともだいぶ話ができるようになって、最近は「大丈夫かな」と思えるようになりました。

畑：私は、まだ「仕事に対してこうありたい」というのが見えてないですけど、今よりは出来ることを増やして行って、自分が居て良かったと思われるような存在になるよう、そのためには、毎日の積み重ねが大事だと思っています。

そして、今私は営業ですが、この業界の営業という仕事が、私には分からない部分も多くて、まあ、仕事を取るのが営業だと思うのですが、とりあえずは、人と人とのつながりがすごく大事ななと感じています。また、営業のスキルというよりは、まずは、この業界のことを色々と理解するの

が大事と思うようになりました。

山谷：10年後には、私は家庭では、上の子が中学に上がっている頃なので、少しは落ち着いていると思いますが、まだやるべきことが多くて、仕事一本に行けるような状況にはなっていないと思います。仕事については、先ほども言ったように、社内の色々な調整で苦勞してしまして、「まとめるべきものが上手くまとめることが出来ない」というような壁にぶつかっています。10年後はその辺を上手く出来るようになっていければと思います。

千堂：将来の理想の姿というのは、すぐに見つかるものでなくて、とにかく前に進んで行くことが大事ですが、年経って気付いたら違っていたこともあったり、「理想論だけで終わっちゃったな」ということもあるものです。あと、子育てに関して言うと、なかなか暇にはならないです。「いつになったら楽になるんだろう」といつも思ってるんですけど。

山谷：はい、「いつになったら楽になるんだろう」と日々思っています（笑）。

千堂：子育ては、それぞれの年齢で、異なる大変さと必ず付き合いながら年月が経って行くものです。私は、上の子がまだ11歳で、お母さん歴11年ですが、母に比べたらまだまだ「大したことないな」と感じます。それでも、少しずつは自分の時間を作れるようになって、ママ友とお茶したり出来るようになりました。山谷さんも、そういう自分の時間を作れる日が来るので頑張ってください。

司会：それと、山谷さんは感じていると思いますが、人事部というのはなかなか難しいですよ。私情を挟んじゃいけないから。

千堂：うーん、やったことはないですけど、お察しします。なんかもう想像がつく。ドラマとかでそういう役が来た時にちょっとお話伺ってもいいですか（笑）。人事部の役とか。ぜひ、教えていただきたい。

司会：では、鈴木副会長にも10年後の夢を。

鈴木：夢は、10年後には社長業を次の世代に渡したいんですけど、最近やはり「業界を良くしたい」という想いが強くなって来ました。やはり、業界の地位向上というか、給与面も含めもっとレベルアップして「電気工事業やっています！」と自信持って言えて、子どもたちも「あんなカッコいい業種に行きたいな」と思って貰えるような業

界にしたいです。

千堂：電気は、私たちが当たり前のように使っていて、それが無いと本当に困るもので、そのことを親がやっぱり教えなきゃいけないですよ。でも今は、親がそれをしないで育てている子どもが多いので、私は、小学校でも子どもと親と一緒に学ぶというスタイルで、企業の社会見学をやっていけば良いと思うんですよ。

鈴木：だから、小学校でも、道徳の時間を復活させて、みんなに「働くおじさん」を見てもらいたいんですよ。働くということは、確かに辛い部分もあるのですが、私達は、それがとても大事であると教えられて育ってきています。小学校でも、その辺をしっかり教えてほしいですし、今は先生たちも疲弊している方が多いように思えますが、先生たちが聖職と言われるようになるようにやっていかないと。

千堂：そうですね。先生もそうですし、福祉もそうですし、幼稚園はじめ子どもの面倒を見てくれる方、そして、技術と専門職の方にもうちょっと報酬を渡せるような国にしていかないとダメかなと感じています。そして、仕事に一個一個スポットライトを当てた方が良いですし、そういう授業をするのがいいと思いますね。



鈴木副会長

座談会に参加して

司会：それでは、座談会も終盤に来ましたので、今日の感想を含めて言い足りないことがあれば、女性陣の皆さんお願いします。

山谷：普段はこうして自分の仕事や家庭ことを話す機会もなかったので、今日は色々話すことができ、そして色々とお話を聞かせていただけて良かったです。そして、驚いたのが、芸能界でも、若い人を中心に「そこそこでいいか」という人が多いということです。私の会社でも、若い人の育成というのが課題ですが、社会全体としてそういう風潮になっているんだなと感じました。

畑：私もこういうふうに関心を持って自分の仕事と向き合うこ

とがなかったのですが、今日お話をお伺いして、具体的な目標持たないとたぶん前に進めないのかなと思いました。そして、千堂さんの前向きさといいますか、現状を受け容れてその上でどうしようかという姿勢に感化されました。自分の置かれている立場は、それはそれで受け容れて、できることをして行くだけでも変わって行くのかな、と思うようになりました。

久保杉：私は、会社の会議でも発言するのが苦手でしたが、今日は話がしやすく、話も聞いて下さったので、とても良い雰囲気です。そして、今思うことは、同世代でも、今を楽しみたいから仕事を辞める人も結構いて、とても「もったいないなあ」ということです。あと、男性社員の方が女性に気を遣ってご苦労されているという話を聞きましたので、自分の方から話しやすい雰囲気を作るようにしていければいいのかなって改めて思いました。



司会：最後に、千堂さんから、まとめた話でもいいですし、何かご感想をお願いします。

千堂：私も、今でこそ画面を通して色々なことを好き勝手に情報発信していますが、北海道に来た時は、この土地が私にとってゼロからのスタートだったので「じゃあ、出産とともに、北海道を一つずつ子どもと勉強していこうか」と思いました。

それは、自分の中での「働き方改革」で、今までやってきたことにも自負はありましたけど、UHB「みんテレ」では、全くの新人として、子育て世代として、今のリアルな生活をお届けできたと思っています。それで「あ、千堂さんって、昔

『東京ラブストーリー』出てた人だよ」と最近言われるようになって「よっしゃー、みんな言ってくれるじゃん！」と、本当にそれを楽しんでいるだけなんですよね。

そして、私が20代から30年間やってきた仕事のことも皆さん覚えてくれていて、ありがたいことに今も色々な依頼を頂きますが「私でお役に立てるなら是非行きます。是非やります」ということをやっております。

あとはもう、ひたすら子育てで忙しく過ごしています。今日もバタバタと家を出てきましたが「後で美味しいランチ食べられるんだ私」と思いながらここに来ましたが、本当にそういうふう日々を送っているの、ぜひ、皆さんにも、1日1日楽しみを持って過ごしてほしいなと思います。自分だけの楽しみを持って。

あと一つ。私が毎晩子どもにしている習慣なんですけど「寝る前に、今日楽しかったことを一つだけ思い出してみよう」と語り掛けています。子どもたちは、よく兄弟喧嘩もやるのですが、寝る時には「今日食べたこれ美味しかったね、今日こんなことして楽しかったね」と言って寝れば、次の朝は元気に「おはよう」って言えますよね。それを、おまじないのようにずっと言い続けて、朝「おはよう」って言った時に「よっしゃ、子育てOK」と思うようにしています。「夜寝る前は楽しいことだけ考えて寝よう」というのが自分の今のスタイルですが、ぜひ皆さんもやってみてください（笑）。以上です。ありがとうございました。

一同：ありがとうございました



千堂さんと出席者、広報委員で記念写真

令和元年度 経営者懇談会



令和元年11月7日(木)札幌グランドホテルにおいて「令和元年度経営者懇談会」を開催し、会員代表者など41名が参加しました。

懇談会は、当協会を取り巻く諸問題、協会事業に関する意見や提言を頂き、今後の協会事業に反映し、更に会員代表者相互の意見交換の場として毎年開催しています。



吉本会長

はじめに吉本 浩昌会長から「ここ数年、全国的に自然災害が多発しており、今年は台風15号、19号によって東日本を中心に、これまでに経験したことの無い強風、記録的な大雨による河川の氾濫、土砂災害などで産業活動、社会活動に甚大な被害もたらされました。ライフラインの一翼を担う私ども電設業界といたしましては、忘れた頃にはではなく、いつ来てもという気持ちで、日頃か

らしっかりと自然災害に対する心構えを持っておくことが肝要と改めて感じた次第です。さて、本懇談会ですが、協会活動のさらなる活性化を目指して、私ども電気設備工事業を取り巻く諸課題や当協会の事業活動に関して、皆さまからご意見を頂くとともに、会員相互の情報交換や親睦・交流の場として、毎年開催しているところです。忌憚のない意見交換を通して、会員の皆さまとともに、今後の事業活動について考える場にしたいと思っています」と挨拶されました。

続いて、宇野 徹専務理事の司会で議事進行となりました。

【 令和元年度 経営者懇談会議事次第 】

1. 電設協 令和元年度 会員大会の開催概要について
2. 電設協 本部・支部意見交換会の概要について
3. 連絡事項
 - ・令和2年電気関係賀詞交歓会のご案内について など
4. 各地区協会管内の近況報告
5. 協会事業のあり方に係る検討状況（検討会中間報告）
6. 今後の協会事業に対する意見・要望事項

令和元年度 経営者懇談会・セミナー



令和元年11月7日(木)札幌グランドホテルにおいて、懇談会に引き続きセミナーを開催し、会員代表者など56名が聴講しました。

はじめに、吉本 浩昌会長が挨拶し、電気設備工事業を取り巻く事業環境にふれた後「このセミナーは、その時どきのタイムリーな話題や経営基盤の強化につながるようなテーマを選定し、会員の企業活動にお役に立ていただきたいという思いで開催しています。本日は、『電設業界における生産性向上に向けた取組み～「働き方改革」の実現を目指して』～」と題して、経営のトップの方、経営幹部の皆様を対象に、国の電気通信工事や営繕工事での発注者様側の取組事例や、施工現場における生産性向上に関する受注者側の立場からの電設協内での検討状況について、3名の講師をお招きしています。会員の皆さまには、今後の企業活動にお役立ていただきますよう熱心なご聴講をお願いします」と述べました。

セミナーの概要

- 第一部 生産性向上に向けた取組事例の紹介
 - ①電気通信工事の取組事例
講師：北海道開発局事業振興部機械課
課長補佐 今野 崇 氏
 - ・電気通信ビジョン3について
 - ・取組事例について ほか
 - ②営繕工事の取組事例
講師：北海道開発局営繕部技術・評価課
課長補佐 町田 豊治 氏
 - ・営繕工事における働き方改革の取組み
 - ・営繕工事における生産性向上技術の活用について ほか
- 第二部 施工現場における生産性向上の現状と課題（タブレット編）
講師：(一社)日本電設工業協会技術安全委員会
生産性向上新技術検討WG委員 鶴留 真 氏
 - ・新技術による効率化・省力化紹介
 - ・現場でのICT活用 ほか



今野講師



町田講師



鶴留講師



協働で創る住みよいやすらぎの郷 ～古平町～

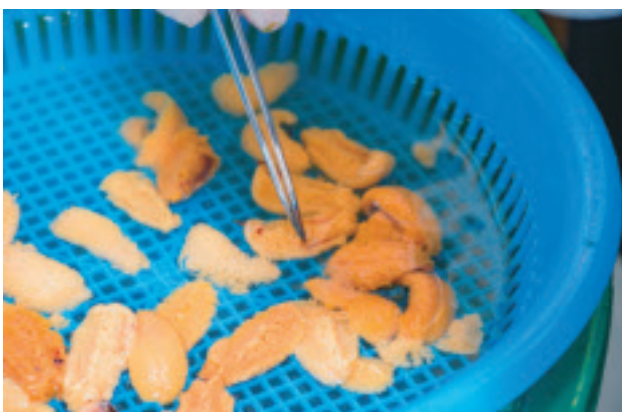
古平町長 貞村英之



■町の概要

古平町は、江戸時代にニシン漁で栄え、現在は漁業やタラコの水産加工業が盛んな港町です。

積丹半島の東側に位置し、人口は約3000人、面積は188.36km²です。面積の約90%が森林で、市街地は日本海に面する北側に密集しています。余市町・積丹町に隣接した古平町は、2018年に後志自動車道が余市町まで開通し、札幌から80分ほどで来ることができます。



■古平町の漁業・水産加工業

古平町は、夏のウニが有名ですが、四季折々の海の幸で賑わう古平漁港には、スケトウダラ、ホッケ、カレイ、イカ、タコ、甘エビなど豊富な魚介類が水揚げされています。

町の基幹産業の漁業と連携した水産加工業は、タラコや明太子、数の子、ツブ、身欠きニシンなど、豊富な魚介類からなる地場産品を活かした、こだわりの加工品を作っています。



■古平町のイベント

◎琴平神社例大祭・恵比須神社例大祭

毎年7月と9月に猿田彦の火渡り神事が行われます。町中に太鼓の音と笛の音が響き渡り、クライマックスの火渡り神事での火柱は約3メートルの高さまで上ります。夏の古平町が一番盛り上がるこのお祭りは必見です。



◎漁協祭

朝に水揚げされたばかりの超新鮮な魚介類や加工品などの旬の味覚が、手頃な値段ですらりと並ぶ売切れ必至の漁協祭。年4回開催しており、スタートの朝9時に来るのがおすすめです。



◎古平ロードレース大会

毎年体育の日に行われるマラソンで、町内外から1200人以上集まる一大イベントです。参加者には、特産品のたらこや豚汁が振舞われます。

■古平町の観光スポット

◎古平家族旅行村

小高い丘の上に広がる古平家族旅行村では、海を眺めながら心地よくキャンプやバーベキューを満喫できます。また、歌棄海水浴場にも近く、積丹半島で人気のキャンプ場となっています。



◎あいらんど広場パークゴルフ場

全27ホールあるパークゴルフを、海の望める緑のフィールドで楽しめます。春には桜を眺めながら、秋には栗を拾いながらプレーするのも隠れた楽しみ方の1つです。

◎日本海ふるびら温泉しおかぜ

高台にある建物は番屋をイメージしたデザインが特徴的です。海を望むロケーションと湯冷めしにくい鉄分を多く含む褐色の湯は、大変好評です。



■古平町のふるさと納税

古平町では、ふるさと納税の寄附金を受付けており、返礼品としてたらこを中心とした海の幸を多く取り揃えています。

◇古平町ホームページアドレス

<http://www.town.furubira.lg.jp/>



観光に生活にちょうどいい町 ～上砂川町～

上砂川町長 奥山光一



■町の概要

上砂川町は、面積39.98km²と道内で最小面積の町で札幌市と旭川市の間に位置しており、観光地である富良野市などへも約1時間程度で行けることから、都会と田舎を共有した暮らしやレジャーを楽しむのもってこいの町です。道央空知管内のほぼ中央に位置し、パンケウタシナイ川を中心とする水と緑豊かな自然環境が町民に癒しを与えるとともに、降雪量も平野部と比較すると少なく生活環境にも恵まれた町として発展を続けています。また、かつては炭鉱を主要産業とし発展してきた町ですが、近年では企業立地に力を入れており、マイクログラス株式会社、京都セミコンダクター株式会社をはじめとした企業が多数進出し、物づくりの町となっています。

上砂川町の開拓は、明治30年に福井県坂井郡鶉村出身の山内甚之助氏が入植したことにより始まり、大正3年に三井鉱山株式会社が第1坑の口付けをし、炭鉱町発展の基礎が築かれました。その後昭和24年には砂川町、歌志内町から上砂川町が分町しました。母町である砂川は、アイヌ語で「オタウシナイ」で「オタ」は砂、「ウシ」は多い、「ナイ」は川という意味から砂川と命名され、砂川の上流にあることから「上砂川」と決定し、分町によって「上砂川町」と命名されました。昭和27年には、住民登録最大人口である32,103人を記録しました。昭和62年に主要産業だった三井砂川炭鉱が閉山すると人々は職を求め次々と町外へ転出し、現在では2,889人（令和元年10月末現

在）まで減少しています。上砂川町は今年で開拓の鍬が下ろされてから120年、開町から70年の記念の年を迎えました。

■町の取り組み

上砂川町では平成27年度から地域おこし協力隊の受け入れを行っており、町おこしを行ってもらっています。今まで5名の協力隊の受け入れをし、現在は計5名の隊員が自分の特技を生かし地域の活性化に励んでいます。また平成29年11月には多世代交流拠点施設である「まちの駅ふらっと」という施設をオープンさせました。カフェが併設されており、気軽に町民が交流できる憩いの場となっています。協力隊は現在ふらっとでのカフェ運営業務も担っています。



地域おこし協力隊のみなさん



かつての炭鉱町ということで協力隊が考案した「石炭たこ焼き」「石炭ケーキ」、「石炭パフェ」などの真っ黒な石炭グルメが人気メニューとなっています。

また、協力隊の中には鍼灸師や運動指導士などの資格を持っておられる方がおり、まちの駅ふらっとでは本格的なツボ講座やヨガ講座、ボール運動講座などが開催されていて町民の皆様で賑わっています。

またパンケ歌志内川の良質な水で虹鱒を養殖しており、きれいに澄んだ山水で育てているため、川魚にありがちな臭みがなくとても食べやすいです。他の養殖された虹鱒よりも大きく脂がのっているのが特徴で、秋から冬にかけてが旬で特に美味しいです。桜チップで6～7時間燻製して仕上げしており、燻製の香りがスーッと鼻に抜けてとても柔らかくて食べやすく仕上がっています。しかも、添加物は一切使用していないので体にも優しい一品となっています。上砂川岳温泉パンケの湯で販売しておりますが一度に大量生産はできないため、毎週土曜日から売り始めて月曜日くらいには売り切れてしまうことがあるほど人気なので、皆様お早めにご購入下さい。最近では地域おこし協力隊が試行錯誤の後に考案した「ゆずと黒コショウ味」が新味として登場し、大人気となっています。

■上砂川町を楽しむ

毎年8月13日に仮装盆踊り花火大会が開催されます。町内外からたくさんの方に来場を頂いております。ビンゴ大会は商品券や100円玉つかみ取りなど大変豪華な景品が当たるためカードを求めて毎年大行列になるほどの人気のイベントとなっています。仮装盆おどり大会には工夫を凝らした衣装を作成し大勢の方が参加し、踊りを楽しみながらも賞を狙って競い合いをしています。それから上砂川町の伝統芸能である獅子神楽を町内の子ども達が踊り大変盛り上がります。また、お祭りの最後に開催される花火大会は、音楽に合わせて打ち上げられる花火を間近で見ることができるため、迫力のある花火大会となっています。立坑をバックに打ちあがった花火を撮るとインスタ映え



間違いなしの写真が撮れます。

また2月中旬頃には子ども達に雪で遊ぶ楽しさを知ってもらい、町中で盛り上がりとして始まった冬のお祭りである雪ん子まつりが開催されます。人気の大きな雪の滑り台やスノーモービルの試乗、ジャンケン大会や宝さがしなどがあり子ども達の歓喜の音が響くイベントとなっています。地域おこし協力隊や地元のお店が食べ物の屋台を出展し、ご家族で1日中楽しむことができます。またもちつき大会では子ども達がついたお餅を雑煮などでその場で堪能できます。

■上砂川町に癒される

上砂川岳温泉パンケの湯は自然に囲まれた和やかな空間で、日々の疲れが癒せる温泉です。17種類もの効能が確認されており、美肌の湯として知られています。宿泊室は和、洋室を兼ね備えた特別室や、和室、洋室ご希望に合ったお部屋でゆったりとした、楽しい時間をお過ごしになれます。また、併設しているレストラン「パンケ」では、温泉のすぐそばを流れる、パンケ歌志内川の良質な水で養殖された虹鱒を使った、虹鱒フライなど、料理長自慢の四季の素材を使った料理を堪能できます。



またパンケの湯から歩いてほど近い距離には四季おりおり変化に富む自然をご覧になれる日本庭園があります。2万㎡の敷

地内に、庭石や三段落ちの滝、八つ橋、あずまやなどが配置され、和の心を味わうことができる場所になっています。また、日本庭園の入り口にある、全長40mの「野鳥の橋」はウグイスをはじめとする18種類の野鳥のさえずりが聞こえ見どころの一つとなっています。

◇上砂川町ホームページアドレス

<http://town.kamisunagawa.hokkaido.jp/>

令和元年度 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会



令和元年10月28日(月)北海道電気会館において、当協会と(一社)北海道空調衛生工事業協会との共催(電気・空衛連絡協議会)で、北海道開発局営繕部の増田 正一部長をはじめ10名の幹部の方々のご出席をいただき意見交換会を実施しました。

当協会からは吉本 浩昌会長他9名、北海道空調衛生工事業協会からは池田 薫会長他10名が出席しました。

はじめに両団体を代表し北海道空調衛生工事業協会の池田 薫会長から「業界の技術者技能者の人手不足には今後ますます厳しい状況となっていくことが予想され、建設キャリアアップシステムの導入やさらには働き方改革などの課題に業界を挙げて取り組み、企業が安定した経営基盤のもとで人材を育成できる環境と若者が就職を希望する魅力ある産業を目指して行かなければならない」と事業に対する協力と支援を求めました。

引き続き北海道開発局の増田 正一営繕部長から「建設業の働き方改革における大きな柱となっているのが、週休2日工事の拡大と現場の生産性向上の取り組み。本日は働き方改革に向けた取り組み等についての情報提供とともに、業界の現状や課題について伺う機会としたい」と挨拶されました。

この後、意見交換会では北海道開発局営繕部の担当の皆さまから議題について詳細な説明がありました。

協会からは①長時間労働是正について②分離発

注の継続のお願い③安定的な工事量の確保についての3項目を要望いたしました。

これに対し営繕部からは、

- ・長時間労働是正については、本省からの通知を踏まえ、今後も当局が発注する営繕工事において設備工事の施工期間を確保した工期となるように適切な工程管理に努めていく。また工事書類の簡素化などに向け、公共建築工事標準書式による書類の統一化を図っている。
- ・分離発注については今後も適切に継続していくが、残念ながら分離発注において不調が多発しているため、工事発注情報のメール発信サービス等を活用し、積極的な応募をお願いしたい。
- ・安定的な工事量の確保については、官庁施設の防災機能の強化や長寿命化を推進することに重点を置き、営繕事業を実施しているが、今後ともこれらの趣旨に沿って、防災機能に対する設備機器の更新・増設や長寿命化に対して必要な事業を進めていく。

と回答をいただきました。

【主な議題】

1. 令和元年度 北海道開発局営繕事業の概要
2. 営繕部における総合評価落札方式(修正点)
3. 建設業等働き方改革について
4. 「営繕積算方式」活用マニュアルの改訂
5. 電子契約システムの運用について
6. 要望事項等について

令和元年度 北海道の建築工事に係る合同研修会



令和元年9月24日(火)北海道電気会館において、当協会と北海道電気工事業工業組合、(一社)北海道空調衛生工事業協会、北海道管工事業協同組合連合会との4団体共催で全道から4団体役員等、約85名の参加のもと、北海道建設部建築局幹部の方々のご出席を頂き「令和元年度北海道の建築工事に係る合同研修会」を開催しました。

最初に主催者を代表して(一社)北海道空調衛生工事業協会の池田 薫会長から「技術者、技能者の人手不足に関しては、ますます厳しい状況が予想され、将来の担い手確保や人材育成に向けて、建設キャリアアップシステムの導入、生産性向上や働き方改革などに業界を挙げて取り組んでいかなければなりません。今回の研修は、これらの課題に密接に関係する内容となっており、大変期待しているところです」と挨拶されました。

続いて、北海道建設部建築局建築整備課 設備・環境担当課長の高田 誠様から「近年全国的に大規模自然災害が頻発しており、本道においても昨年9月に道民がかつて経験したことがない最大震度7を記録した北海道胆振東部地震から一年を迎えました。この震災により、機械設備・電気設備は地域の安全・安心な生活に重要な役割を果たしていることが再確認されたところであり、皆さま方の日頃のご尽力に感謝申し上げます。さて、今年度の入札状況について、札幌・石狩地区の機械設備工事で、再入札が4件発生しています。昨年までの発生要因は、発注金額と合わないことが概ねの理由でありましたが、今年度は、配管工などの専門の技術者の確保が難しいとの情報も入っています。担い手を確保するための喫緊の課題である働き方改革について、皆さんと一緒に

取り組んでいきたいと考えており、本日の研修が将来の働き方改革の実現と今後の発注にプラスとなることを期待しています」と挨拶されました。

次に建築局の各担当者の皆様から「新担い手3法について」「道の営繕工事における働き方改革に向けた取り組み」「総合評価落札方式の実施状況」「週休2日モデル工事について」等の解説を頂きました。

この後、主催者側から

- ・長時間労働是正について
- ・分離発注の継続のお願いについて
- ・安定的な工事量の確保についての3項目を要望いたしました。

これに対して北海道建築局からは

- ・「北海道建設産業支援プラン2018」に基づく支援策を推進し、長時間労働の是正とともに、週休2日制導入の後押しをしようと考えている。
- ・責任施工体制を確立し、品質確保を図るのが分離発注の一番の目的であり、設備業界の利益を守る観点からも今後も分離発注を続けていく。
- ・北海道の建物は老朽化が進み、建替えを必要とするものもあり、予算の状況次第だができる限り今後も事業量は一定程度確保していきたい。

と回答を頂き有意義な研修会を終えました。

○北海道建設部建築局からの出席者

- ・建築整備課 設備・環境担当課長 高田 誠 氏
- ・ 〃 機械設備グループ主幹 本間 智志 氏
- ・ 〃 電気設備グループ主幹 成田 忠 氏
- ・ 〃 機械設備グループ主査 三上 寛司 氏
- ・ 〃 電気設備グループ主査 汲川 哲也 氏
- ・計画管理課 営繕企画グループ主幹 清水 浩史 氏

登録電気工事基幹技能者認定講習会



令和元年10月26日(土)～27日(日)北農健保会館において、登録電気工事基幹技能者認定講習会が開催され、全道から50名が受講しました。

この講習会は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」をふまえ、(一社)日本電設工業協会が策定した「電気技能労働者育成指針」に基づき、電気工事業界における基幹技能者を認定する講習会です。

登録基幹技能者は、公共工事の総合評価方式の加点項目に設定されているほか、建設キャリアアップシステムでゴールドカード対象として建設技能者の能力評価制度では最上位に位置付けられています。

初めに当協会の宇野専務理事から「現場では施工方法の実情に精通し作業管理や調整能力を持ち、他の職長と連絡・調整を担う役割が大切です。このため、現場の技術者に対して適切に指導・統率できる登録電気工事基幹技能者の確保と育成が求められています。講習会を通じて施工管理などの知識を十分に理解し、最終日の修了試験には全員合格して欲しい」と呼びかけました。

認定講習会は全国一斉に行われ、当協会の認定講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者の役割や基礎知識など幅広い内容を講義しました。受講者は資格取得に向け真剣に取り組み、重

要な箇所にアンダーラインを引いたりメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

修了試験合格者には、令和2年1月末日までに、登録電気工事基幹技能者講習修了証の交付が予定されています。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (一社)北海道電業協会専務理事
宇野 徹
2. 登録電気工事基幹技能者のあり方
電気工事における新材料・新工法
川口 博氏
(北海電気工事(株) 電設工事部技術Gマネージャー)
3. OJT教育
宮森 慎一氏
(拓北電業(株) 常務取締役)
4. 施工管理、事務管理、原価管理関連法規他
内山 優氏
((株)北弘電社 技術部担当部長)
5. 資材管理・安全管理・労務管理
宮森 慎一氏
(拓北電業(株) 常務取締役)
6. 品質管理・環境管理
小川 恒明氏
(協信電気工業(株) 常務取締役)



川口講師



宮森講師



内山講師



小川講師

安全パトロール実施報告



札幌市立中央小学校完成予想図

令和元年10月7日(月)技術安全委員会委員6名による安全パトロールを実施しました。

今回の現場は、札幌市中央区大通東6丁目で改築工事中の札幌市立中央小学校です。

橋本電気工事(株)の現場事務所にて、現場代理人の塩垣 秀信氏より、工事計画の全体概要および本日の工事箇所について説明を受けた後、早速、技術安全委員による安全に関する書類の点検ならびに工事現場の安全確認に向かいました。



工事内容は小学校校舎棟（RC造、地上5階建、建築面積3,670.92㎡ 延床面積10,346.05㎡）改築に伴う強電設備工事です。

平成30年10月に着工し令和2年1月完成予定です。当日は校舎棟内の電気器具取付、電気室配線整備工事などが行われていました。

パトロールは1階から5階までのフロア内と

作業員詰所の一般事項、墜落防止、感電防止、衛生環境、防火管理などを点検して終了しました。

終了後、北海道電気会館会議室において、安全パトロール点検表のチェック項目を整理し、個別に各委員から点検結果が発表され、概ね良好であることを

確認しました。

最後に佐藤委員長（株きんでん）から「場内、片づけを含めた整理整頓は良好です。受電に向け電気室内工事の施工中であり、未施工が残らないよう竣工まで無事故で頑張ってください」と総評があり、パトロール終了としました。



電気設備施設見学会

電気設備施設見学会は、会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、毎年実施しています。今年は今和元年10月3日(木)に、(一社)電気設備学会北海道支部と合同で開催しました。

今回の見学場所は「(株)Jファーム 苫小牧工場」と「低炭素水素技術実証事業(室蘭市)」です。

参加者17名が札幌駅北口に集合し貸切バスで移動いたしました。最初は(株)Jファーム 苫小牧工場です。

○(株)Jファーム 苫小牧工場の概要

・所在地：苫小牧市柏原6-312

① 栽培設備の概要

- ・第一工場：ベビーリーフ栽培棟(10,192m²)
- ・第二工場：トマト栽培棟(5,760m²)
- ・第三工場：トマト・多品種栽培棟(10,240m²)

② エネルギー設備の概要

- ・ガスエンジン：JFE-Waukesha製、230kW(電気)、350kW(熱)、140kg/h(CO₂)
- ・バイオマスボイラ：300kW(熱)、150kg/h(CO₂)
- ・温泉熱：263kW(熱)

(株)Jファーム 苫小牧工場は、高度栽培環境システムによりハウス内の環境(温度、湿度、日射量、CO₂、肥料など)を制御し、植物の育成に最適な栽培環境を作り出す最先端の栽培方法(スマートアグリプラント)を採用した植物工場です。天然ガスを燃料に電気、廃熱だけでなく排気ガスに含まれるCO₂を有効活用するガスエンジントリジェネレーションシステムを行っています。



次の見学場所は、低炭素水素技術実証事業(室蘭市)です。

○低炭素水素技術実証事業(室蘭市)の概要

・所在地：室蘭市祝津町4-5

◇設備の概要

- ・水電解装置：水素製造能力1Nm³/h
- ・車載型水素吸蔵合金タンク
：吸蔵水素量 45Nm³
- ・純水素型燃料電池：700kW

室蘭市で現在実施されている本事業は、地域の再生可能エネルギーや未利用エネルギーを利用し、水素の製造から貯蔵、輸送、供給、利用までの水素サプライチェーンを構築し、実証するもので、2018年度から2019年度まで行われます。



見学途中、それぞれの施設担当者への質問などが多数あり、参加者の関心の高さを感じる有意義な見学となりました。

各施設の関係者の皆様に感謝を申し上げます。



～シリーズ～ 「私のいちおし」

株きんでん 北海道支社
執行役員支社長 佐藤 友昭



狸小路を西に真っすぐ行くとアーケードがなくなった8丁目にひっそりとBARがあります。今回は私が最近お世話になっている「Mr.Shake」さんを紹介させていただきます。

マスターは吉田 幸二さんで大学在学中にBARの世界にドップリ浸かり、洋酒とそれに合うジャンルを問わない料理の腕を銀座8丁目等のワインバー・ショットバーで12年間学び、その後30歳にして生まれ故郷の北海道に戻り、Mr.Shakeをオープンされました。

お店の中はちょっと暗めの落ち着いた雰囲気、木目調の統一されたお洒落な内観と富良野のミズナラ大樹の重厚なバーカウンター、そしてカウンターに並ぶウキスキーの種類が多さが人目を惹きます。更に店内にはダーツやテーブルゲーム等が設置されており、お客を飽きさせない遊び心



満載の仕様となっています。席はカウンター8席とテーブル・ソファ38席があるので、1人やカップルで飲むのもよし、大人数での貸し切りの宴会でもご利用できます。

ウキスキーを含めお酒は100種類以上あり、新鮮食材を使用した料理も24種類あります。中でも貴重な厚岸蒸留所で作られたウキスキーは私のお気に入り、口の中に広がる香りとまろやかな甘さはクセになります。更にコクのあるデミグラスソースとフワフワの卵の「ハッシュドビーフのオムライス」もおすすめの一品です。



マスターの吉田さんは人柄も接客もとても良く、いつも私を気持ちよく迎え入れてくれますので、私ばかりだけではなく、このお店には常連客が多い理由が分かります。吉田さんと談話をしてお腹も心も満たされて家路につくのが、私にとって至福の時間となっています。

そんな癒しの空間である「Mr.Shake」さんに皆さんも一度訪問してみたいはかがでしょうか。



左から私、吉田マスター

- 【店 名】 Mr.Shake
- 【住 所】 札幌市中央区南3条西8丁目7番地
遠藤ビル2階
- 【電 話】 011-272-1335
- 【営業時間】 18:00~24:30
- 【定休日】 日/祝日(貸切時は営業)

厚生委員会行事報告

歌唱部会



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には益々ご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。また、皆様方には常日頃から歌唱部会の活動に多大なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。



さて部会は年4回開催しております。常時20名程参加して頂き、お陰様で5月・8月・11月の部会も会員皆様のご協力の甲斐があって盛況に行うことができ感謝しております。早いもので令和元年度も2月開催予定の1回のみとなりました。



歴史ある歌唱部会のメンバーの中には、プロ顔負けの歌唱力・芸達者な物まね・替え歌など多彩なパフォーマンスがあり、2時間ほどがアツと言う間に過ぎてしまうほど楽しい会です。是非、他の会社の人達とコミュニケーションや親交を深める場として続けて行きたいと思います。

部会の様子は写真で想像して頂けたらと思います。全員が1曲歌えますし、歌の苦手な方もお話しだけでも良いので、是非、会員以外の方も、声を掛けて頂き参加してもらいたいものです。



今後とも、一層楽しい会を開催出来るようにスタッフ一同努力して行きたいと思いますので、ご協力お願い申し上げます。

歌唱部会長 向平 義美 (株北弘電社)

スタッフ一同



ゴルフ部会



新春を迎え心よりお喜び申し上げます。旧年中は会員の皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。

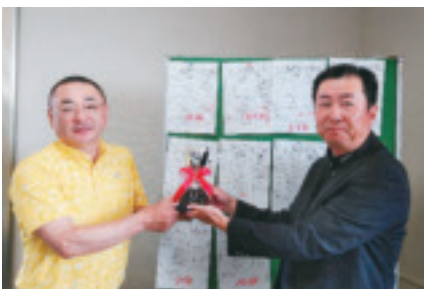
ゴルフ部会長に任命され早4年が経過いたしました。お恥ずかしながら腕は上がりず苦戦しておりますが、ゴルフ部会運営に対しまして前任の部会長はもとより、幹事の皆様にもご協力を頂きながら部会の運営に汗しております。昨年は天候にも恵まれ、年度初めに4回予定しておりましたゴルフ大会を順調に行う事ができました。ご参加頂いた皆様、誠にありがとうございました。

さて、令和元年第1回大会優勝者〔羊ヶ丘CC 参加者30名〕佐久間忠信さん（北明電気工業）BGにて堂々たる優勝を獲得いたしました。



第1回優勝者
佐久間さん(左)

第2回大会優勝者〔札幌南GC 参加者29名〕吉田岳夫さん（北海電気工事）BGでの優勝を獲得いたしました。



第2回優勝者
吉田さん(右)

第3回大会優勝者〔札幌エルムCC 参加者29名〕加藤定義さん（北盛電設）大健闘され、優勝を獲得いたしました。



第3回優勝者
加藤さん(左)

第4回大会優勝者〔札幌芙蓉CC 参加者34名〕山口 勉さん（山口電気機械工務所）大健闘され、優勝を獲得いたしました。



第4回優勝者
山口さん(左)

また松原一朗さん、佐久間忠信さん（共に北明電気工業(株)）に於かれましては長年にわたりゴルフ部会幹事として、運営にご協力を頂き誠にありがとうございました。ゴルフ部会をご卒業されますが、ゴルフ部会運営に行き詰まった際にはご相談させて頂きますのでお力をお借りできれば幸いと存じます。

長年にわたり、ありがとうございました。

今年も会員皆様のご参加を楽しみにしております。幹事一同、皆様に楽しんで頂ける様、運営を務めさせて頂きますので、どうぞ宜しくお願いします。

ゴルフ部会長 橋本 佳明（橋本電気工事(株)）



ボウリング部会



第2回優勝者の三上さん（右）

第2回目となる今回も会場はディノスボウルノルベサにて、16名のご参加を頂き開催となりました。余談ではありますが皆様には馴染みの深いディノス中央（南3西1）が約50年間に渡る歴史に幕を下ろしました。新たに複合施設として生まれ変わるとの計画もある様ではあります。

さて、今回は非常に若手営業マンの参加も多く、非常に活気あふれるゲームが繰り広げられました。とは言え一番の盛り上げ役は我等が部長：(株)でんこう藤井であったことは言うまでもありません・・・

令和元年度2回目・栄えある優勝は北電力設備工事(株)の三上さんがトータル350点（ハンデ30）と言うハイスコアで有終の美を飾りました。

準優勝は私、橋本電気工事(株)細野が何と！ベストスコアで人生初の200点越え214点をマークし（もちろんハイゲーム賞含む）頂いてしまいました。ゲーム内容的にも序盤から5フレーム連続のストライクで大興奮…（文章からも気持ち伝わりますかと思えます）まさにゾーン（領域）にはまったと言わせて頂きます。

続く1位～5位までも300点オーバーでレベルの高い大混戦となり幕を閉じました。

若者たちは若さとパワーを武器に！ またベテランの諸先輩方は安定感と巧みなボール捌きで楽しいひと時を共有する事が出来ました。

繁忙期を迎えたこの時期という事で参加人数に少し寂しさも感じますが、参加された殆どの方が賞品を手にする事が出来、懇親会では和気藹々と日頃の仕事やプライベート話など各々で盛り上がっていました。

何かと顔を合わせ会話や色々な情報等を交わす場が少なくなった昨今、こう言った行事に参加する事で得る物もあります。諸事情等もあるかと思

いますが極力ご参加頂き、営業活動の情報源として、また友好の場としてご活用頂ければと思います。

今年度最後となる3回目は時期をズラし、年明け1月24日開催を予定しております。新たな年を迎えた顔合わせの場として、是非皆さんのご参加をお待ちしております。

ボウリング部会幹事

細野 隆平（橋本電気工事(株)）

令和元年度

第2回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

開催日：令和元年9月27日(金)

順位	氏名	1G	2G	ハンデ	合計	会社名
優勝	三上 哲哉	153	137	30	350	北電力設備工事(株)
準	細野 隆平	91	214	15	335	橋本電気工事(株)
1	三好 裕一	155	148	15	333	(株)札幌機電工業所
2	本間 美則	120	142	30	322	拓北電業(株)
3	猪股 栄太	119	142	30	321	末廣屋電機(株)
4	鈴木 周平	77	179	30	316	北電力設備工事(株)
5	内川 勝哉	130	118	30	308	(株)北弘電社
6	小林 勇治	136	132	14	296	三共電気工業(株)
7	福田 哲也	125	130	18	291	大成電気(株)
8	檜木 太貴	103	125	30	288	(株)北弘電社
9	藤井 大樹	113	117	10	250	(株)でんこう
10	畑 千寿代	70	91	40	241	北盛電設(株)
11	伊藤 寿教	74	105	30	239	三共電気工業(株)
12	嶋田 幸規	89	94	21	225	(株)北弘電社
13	由利 尚也	99	94	0	193	(株)北弘電社
14	尾崎 健太	91	50	21	183	拓北電業(株)
ハイゲーム賞				細野 隆平	橋本電気工事(株)	
大波賞				鈴木 周平	北電力設備工事(株)	
小波賞				藤井 大樹	(株)でんこう	
飛び賞(5位)				内川 勝哉	(株)北弘電社	
ブービー賞				由利 尚也	(株)北弘電社	
ブービーメーカー賞				尾崎 健太	拓北電業(株)	
ラッキー賞①				福田 哲也	大成電気(株)	
ラッキー賞②				小林 勇治	三共電気工業(株)	

業界だより

【法人職務執行者の変更】

- | | | | |
|---------------------|-------|--------------|-------|
| (令和元年4月1日付) | | (令和元年10月1日付) | |
| ○サンワコムシスエンジニアリング(株) | | ○岸野電気(株)札幌支店 | |
| 北海道支店 | | (新) 執行役員支店長 | 中村 崇裕 |
| (新) 支店長 | 森本 茂 | (旧) 取締役支店長 | 関戸 武勲 |
| (旧) 支店長 | 山崎 裕司 | | |

【退会のお知らせ】

- (令和元年9月30日付)
○北明電気工業(株)

理事会・三役会・委員会報告

|| 理 事 会

◇2019年10月24日(木) 12:00~13:30

第4回議題

【協議事項】

1. 令和2年度電業協会及び電設協道支部の役員会等日程(案)について
2. 令和元年度「経営者懇談会、セミナー」の運営(案)について
3. 定款第21条第5項の規定に基づく報告について(職務執行状況)
4. 北海道開発局営繕部との意見交換会について

【報告事項】

1. 電設協 本部と支部役員の意見交換会について(開催結果)
2. 北海道開発局事業振興部との意見交換会について(開催結果)
3. 令和元年度 電気設備施設見学会について(開催結果)
4. 令和元年度 安全衛生パトロール会について(実施結果)
5. 北海道の建築工事に係る合同研修会について

(開催結果)

6. 電設協 令和元年度 会員大会について(開催結果)
7. 令和元年度「建設産業ふれあい展」について
8. 表彰制度の創設について(北海道建設業協会)
9. 令和2年 電気賀詞交歓会について
10. 会員の退会について
11. 会員の諸変更について
12. 令和元年11月~12月の行事予定について
その他意見交換

◇2019年12月3日(火) 16:00~17:30

第5回議題

【協議事項】

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. (一社)北海道電業協会 中間経理報告
3. 令和元年度「建設産業ふれあい展」への対応について
4. 令和元年度 電設業関連4団体懇親会の開催について

【報告事項】

1. 令和元年度 北海道開発局幹部との意見交換会（開催結果）
2. 令和元年度 経営者懇談会・セミナー（開催結果）
3. 令和2年 電気関係賀詞交換会について
その他意見交換

三 役 会

◇2019年9月10日(火) 12:00~13:30

第6回議題

【協議事項】

1. 「これからの協会事業のあり方」に係る素案について
2. 「北海道電業協会の正規会費」について
3. 令和元年度 北海道開発局営繕部との意見交換会について

【報告事項】

1. 本部・支部事務連絡会議（上期）の報告
2. 「令和元年度工事追込期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動」の実施及び「第40回建設産業交通安全全道大会」の開催について
3. 令和元年度 電気設備施設見学会の開催について
4. 令和元年度 安全衛生パトロールの実施について
5. 会員の諸変更
6. 令和元年9~10月の行事予定について
その他意見交換

◇2019年10月8日(火) 12:00~13:30

第7回議題

【協議事項】

1. 令和2年度電業協会及び電設協道支部の役員会等日程（案）について
2. 令和元年度経営者懇談会、セミナーの運営（案）について
3. 定款第21条第5項の規定に基づく報告（案）

について

4. 「今後の事業活動」(案) について
5. 「正規会費」の見直し（案）について

【報告事項】

1. 開発局事業振興部との意見交換会について（開催結果）
2. 令和元年度「北海道の建築工事に係る合同研修会」(開催結果)
3. 令和元年度「建設産業ふれあい展」の企画・運営について
4. 電設協後藤会長と支部役員の意見交換について（開催結果）
5. 電設協 会員大会の諸行事等について
6. 北海道建設業審議会の開催について（案内）
7. 表彰制度創設について（意見照会：北海道建設業協会）
8. 会員の諸変更
9. 令和元年10~11月の行事予定について
その他意見交換

◇2019年12月3日(火) 15:00~15:50

第8回議題

【協議事項】

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. 官公庁への新年の挨拶回りについて
3. 令和元年度「建設産業ふれあい展」への対応について
4. 令和元年度 電設業関連4団体懇談会の開催について
5. 正規会費の見直しについて

【報告事項】

1. 令和元年度 北海道開発局営繕部との意見交換（開催結果）
2. 令和元年度 経営者懇談会・セミナー（開催結果）
3. 令和2年 電気関係賀詞交換会について
4. 会員の諸変更
5. 令和元年12月~令和2年1月行事予定について

その他意見交換

総務委員会

◇2019年9月25日(水) 12:00~13:30

第2回議題

1. 令和元年度 経営者懇談会の開催要領(案)について
2. 令和元年度「建設産業ふれあい展」の企画・運営について
3. (札幌市) 令和元年度 災害時伝達訓練の実施について
4. 技術系学校の先生との意見交換会の開催結果について
5. 技術系学校の学生の工事現場見学会の実施結果について
6. その他意見交換

◇2019年12月11日(水) 16:00~17:00

第3回議題

1. 定時総会までの事業スケジュールについて
2. 北海道電業協会2019年度中間経理報告
3. 令和元年度 経営者懇談会(兼 運営協議会)の開催結果について
4. 令和2年 電気関係3団体賀詞交歓会の開催について
5. その他意見交換

経営委員会

◇2019年12月11日(水) 16:00~17:00

第4回議題

1. 電設協 第287・288回政策委員会の開催概要について
2. 令和元年度 経営者懇談会・セミナーの開催概要について
3. 令和2年 電気関係3団体賀詞交換会の開催について
4. その他意見交換

広報委員会

◇2019年12月12日(木) 10:00~13:00

第3回議題

1. 会報「春号」の編集方針(案)について
2. 新春特集の校正について
3. 会報「冬号」の校正について
4. その他意見交換

技術安全委員会

◇2019年12月10日(火) 10:00~11:30

第2回議題

1. 実施報告
 - ①2019年 登録電気工事基幹技能者認定講習会
 - ②安全衛生パトロール報告
 - ③電気設備施設見学会報告
 - ④令和元年度 経営者懇談会開催概要
 - ⑤技術系学校先生との意見交換会
 - ⑥技術系学校生徒 工事現場見学会
 - ⑦第一種電気工事士技能受験対策講習会
2. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の開催概要(電設協本部)
3. 技術講習会の開催について
4. 令和2年度 技術安全衛生基礎教育講習会(新人研修)(案)
5. その他意見交換

事務局日誌

- 10月3日(木)・電気設備施設見学会
(苫小牧・室蘭) 鎌田事務局長
- 7日(月)・現場安全パトロール (札幌)
- 8日(火)・第7回三役会議
- 10日(木)・電設協本部会員大会
(仙台) 吉本会長他
- 15日(火)・令和元年度 災害時伝達訓練
(札幌) 宇野専務、鎌田事務局長
- 24日(木)・第4回理事会・常議員会
- 25日(金)・技術安全委員会
登録基幹技能者講習準備会合
- 26日(土)・登録基幹技能者認定講習会
- 27日(日) 〃
(北農健保会館) 鎌田事務局長
- 28日(月)・北海道開発局営繕部との意見交換会
(電気・空調連絡協議会)
(北海道電気会館) 吉本会長他
- 11月7日(木)・第8回三役会議
・経営者懇談会・セミナー
(札幌グランドホテル) 吉本会長他
- 8日(金)・北海道建設業審議会
(ポールスター札幌) 吉本会長
- 12日(火)・本部第287回政策委員会
(東京) 笠島経営副委員長
- 13日(水)・広報委員会HP部会
- 19日(火)・会報新春特集座談会
(北2条クラブ)
- 21日(木)・本部常任理事会
・本部第363回運営委員会
(東京) 吉本支部長
- 22日(金)・第3回 歌唱部会 (ちゃ茶)
- 23日(土)・第一種電気工事士技能講習会
- 24日(日) 〃
(北海電気工事株) 鎌田事務局長
- 26日(火)・札幌商工会議所 設備工事部会
(ニューオータニイン札幌) 鎌田事務局長
- 28日(木)・本部基幹技能者認定委員会
(東京) 鎌田事務局長
- 12月3日(火)・第9回三役会議
・第5回理事会・常議員会
- 5日(木)・本部第364回運営委員会
(東京) 吉本支部長
- 10日(火)・第2回 技術安全委員会
- 11日(水)・第3回 総務委員会
(北海道電気会館)
・第4回 経営委員会
- 12日(木)・第3回 広報委員会
- 17日(火)・札幌市業界団体連絡協議会
(経済センタービル) 宇野専務
- 27日(金)・仕事納め

編集後記

新年明けましておめでとう御座います。令和初の新年を迎え、初心改まる思いです。新春号の巻頭言を国土交通省北海道開発局 営繕部長の増田 正一様より年頭のご挨拶を頂き誠にありがとうございます。また昨年来は、当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。

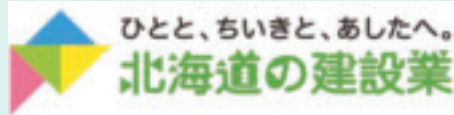
さて本号は、新春特集として「**女性が活躍できる社会づくり**」をテーマに、座談会を開催いたしました。出席者には、タレント・女優の千堂 あきほ様をお招きし、私ども電気工事業界より第一線で働く女性の方にもお越し頂き、職場での苦労や悩み、また将来に向けての忌憚のないご意見を熱く語って頂きました。昨今「働き方改革」「人材不足」「労働者の高齢化」など多種多様な局面を抱えながら企業経営されている皆様にとって一躍の基因になれば幸いです。

さらに2020年は、東京オリンピック開催に於ける、男女マラソン・競歩競技の開催地に札幌市が決定しております。今年の夏は、国内外より多数の観戦者が来道され、合わせて観光もされる事と思われれます。この夏場の1、2ヶ月間は、道内の活況を目の当たりにする事でしょう。電気工事業界としても重要なインフラを担う業界として、より一層の安全・安心をお届け出来るよう気概を持って取り組みたいものです。

最後になりますが、当協会の益々の発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。これまでと変わらぬご厚情、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

広報委員会 副委員長 木村 賢史

参加費無料



みて★
つくって★
体験して！

令和元年度

「建設産業ふれあい展」

令和2年

開催
期間

1月11日(土) 11:00~16:00

12日(日) 10:00~16:00

みんな
来てね!



開催
会場

札幌駅前通地下歩行空間

(大通から北3条までの各広場で開催)

催し
内容

☆お仕事体験(ものづくり)・クイズラリー

☆パネル展・バーチャルリアリティ体験 ほか

※パワーショベルの遊具や輪投げなどで遊べるコーナーも!!
くわしくは、「うら」を見てね!!

☆クイズラリー・アンケートに答えてくれた方には、先着で、新分野に
進出した建設企業の商品など景品をプレゼントします!



↑トマトジュース
※写真はイメージです。



↑ 鮭ぶし ※写真はイメージです。



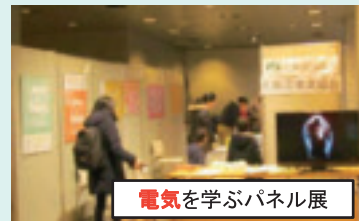
建設産業パネル展



バーチャル
リアリティ
体験



ラジコン重機で造園工事体験



電気を学ぶパネル展



鉄筋を知ろう!



タイルでコースター作り



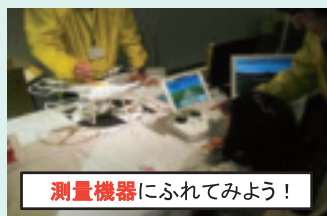
木工パズル作り



塗り壁体験



ミニチュア足場組み立て



測量機器にふれてみよう!



リサイクル製品等の展示



水道管で輪投げ!



小さなアイス作り

お問い合わせ

北海道建設部 建設政策局 建設管理課 建設業サポートグループ

☎ : 011-204-5810

- 主催：北海道、札幌市
- 協賛：(一社)北海道建設業協会、(一財)北海道建設技術センター
- 参加団体：(一社)札幌建設業協会、(一社)日本建築大工技能士会札幌支部、北海道管工事業協同組合連合会、北海道建設作工技建協同組合、北海道左官業組合連合会、(一社)北海道測量設計業協会、札幌地区測量設計業団体協議会、(一社)北海道造園緑化建設業協会、北海道鉄筋業協同組合、(一社)北海道電業協会、北海道型枠工事業協同組合、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道支部北海道職業能力開発促進センター
- 後援：建設産業専門団体北海道地区連合会、(一社)北海道商工会議所連合会、北海道建設業信用保証(株)、厚生労働省北海道労働局、国土交通省北海道開発局、北海道教育委員会、日本建築士学会女性ネットワークの会



発行 令和2年1月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL(011) 271-2932
FAX(011) 271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp
<http://www.dodengyo.jp/>